

歌ノレノ래 141

『セッセッセッ 朝の風』

세 세 세 아침바람

山根 俊郎

国楽の評価

韓国では、88年のソウルオリンピック以降に「わたしたちの歌」(우리 노래)である国楽(국악)への関心が高まった。60年代の近代化、70年代の産業化により西洋音楽一辺倒であったのが、サムルノリの世界的名声とパンソリをテーマにした映画『西便制』(ソピョンジェ・93年)の興行面での成功などがその契機になった。

そして、初等学校(日本の小学校にあたる6年制)の音楽教科書でも国楽が40%を占めるまでになった。創作された国楽童謡と伝来童謡が新たに多く載せられ始めた。

日本のわらべ唄の影響

しかし、97年に在日韓国人3世の音楽教師である洪陽子さんが「遊び歌の伝来童謡には日本のわらべ唄がそのまま残っている」という主張をして、大きな反響を呼んだものと思われる。

97年8月12日付け「韓国日報」社会面

日本の童謡が伝来童謡に遁甲(化ける)

教科書に載せられた愛唱曲23曲が歌詞・旋律が似ている

在日同胞洪陽子さんが論文で明らかに

日本の在来童謡が初等学校の教科書に堂々と韓国の伝来童謡として収録されて子供たちが学んでいる事実がようやく明らかになった。

教育部が著作権を持つ初等学校2学年1学期用「楽しい生活」40,41ページに伝来童謡として紹介されている「ゴム飛び」(줄넘기)は、日本の

伝来童謡(わらべ唄)である「トントントン どなたですか」(똑똑똑 누구십니까)と旋律だけが異なるだけで歌詞形式、遊ぶ方法が同じである。

このような事実は、在日同胞の洪陽子(ホンヤンジヤ、홍양자)さんが昨年(96年)中央大学に提出した碩士論文「韓国の子どもが歌っている日本のわらべ唄」で指摘した。

「トントントン どなた」(똑똑똑 누구십니까)は、1910年代に初めて日本で流行して韓国には日帝強占期(日帝の植民地時代)に流入されたようである。韓国教育開発院編集、国定教科書株式会社発行のこの教科書は、89年から「ゴム飛び」(줄넘기)を収録している。

洪さんによれば、この他に「きつねよ きつねよ 何してる」(여우야 여우야 뭐하니)、「セッセッセッ 朝の風」(세 세 세 아침바람)、「かくれんぼをする人」(숨바꼭질할 사람)、「ちびっこよ ちびっこよ」(꼬마야 꼬마야)など韓国伝来童謡として知られている23曲が日本のわらべ唄と旋律、歌詞、遊び形式が似ていたり同じである。(オ・ミファン記者)



洪陽子さん

また、同日(97年8月12日)付け「韓国日報」文化面にも関連記事が載せられている。

日本の童謡とも知らずに教えていた

われらの伝来童謡に遁甲(化ける)した日童謡

「ゴム飛び」(줄넘기)、「セッセッセッ 朝の風」

(세 세 세 아침바람)、など相当数が“日本製”

独立軍歌・唱歌にも日帝の残滓の影深い

韓国の伝来童謡と知られて子供たちが楽しく歌う歌の相当数が日本の伝来童謡(わらべ唄)

であることが明らかになり早く是正しなければならないという世論が提起されている。

この記事では、洪陽子さんが両国の子どもが遊びながら歌う49曲を比較して23曲が似ていたり同じである、とのことである。

また、遊ぶ時に日本語がそのまま残っている場合もある、と指摘している。

TV番組「カイバイボーアイでしょ」

私は、録画したTV番組「ドキュメンタリー
スペシャル カ위 바위 보 아이코데쇼 カイバイボー」(韓国語のジャンケンポン) アイコデショ」
45分 1999.1.27 KNTV放送、持っている。

元は、MBCが98年秋頃に放送したもの
ようである。洪陽子さんご自身も出演されて、
韓国の伝来童謡の中に日本帝国主義の残滓が色
濃く残っている、という内容であった。

おなじみの魯棟銀(ノ・ドンウン)牧園大教
授がピアノを引いて音楽的に説明していく、閔
庚燦(ミン・キョンチャン)芸術総合大学教授
が北朝鮮の「朝鮮人民革命軍」が日本の軍歌「日
本海軍」のパクリであると強調して、全体の進行
は在日3世の洪陽子(東国大音楽科講師)が
しています。

特に洪陽子さんが発掘した1936年に朝鮮總
督府が発行した「朝鮮の郷土娯楽」を紹介して
いるのが興味深かった。彼女によれば、朝鮮民族
を抹殺するために全国に伝えられた民俗ノリ
(遊び)をくまなく調査したそうである。

この番組では、洪陽子さんが縁故地である濟
州道のある初等学校に行き、実際に子どもたち
が遊んでいる現場を撮影したり、93年にMBC

「ポポポ」という児童番組での放送された歌の
画面も紹介されている。

「セッセッセッ 朝の風」

「セッセッセッ 朝の風」(세 세 세 아침바람)は、
手合わせ遊び(손뼉치기놀이)の代表的な歌である。
女子学生二人が向き合い、お互いで取り「セ
ッセッセッ 朝の風冷たい風に」で自分も拍手
してお互いに手を合わす。「鳴いていくあの雁」

で右手人差し指で空を指し、泣く真似をする。
最後に「クリ クリ クリ」と両手を回して「カ
イバイボー」といいジャンケンをする。

この「セッセッセッ 朝の風」は、韓国ではとても有名な遊びのようである。日本に來
ている40歳代の主婦2人(済州道、大邱出身)
に尋ねたら2人ともすぐに歌いだして手
の動作も始めた。全国的に広まっていたよう
である。

この番組では、原曲である「青山土手から」
を日本の東京の小学校で女子小学生2人が
行っていた。動作もよく似ている。最後にジ
ヤンケンをするのも同じであった。

私のおぼろげな記憶では、関西地方ではお
じやみをする時に女の子が「セッセッセッ
夏も近づく八十八夜…」と歌っていたように
思う。

日本の民族音楽の権威である草野妙子(沖縄
県立芸術大学教授)もジャンケンポンについて
説明していた。ジャンケンポンは、17世紀に日
本で生まれて「セッセッセッ」は、明治の初め
に広く流行した遊びとのことである。

洪陽子さんは、音楽的に「青山土手から」は、
ラドドド ドレドランに比べて「セッセッ
セッ 朝の風」は「ソドドド ドレドラン」と最初の音をラ→ソと高くして始まっている、と説明していた。

なお、「セッセッセッ 朝の風」は、「雁」
(기러기)という題名で教科書に載っていたよ
うである。次ページに楽譜を掲げる。

日本のサイトで「青山土手から」検索する
と岩手県奥州市のわらべ唄とでてきたので
歌詞を掲げる。

その他の歌

「トントントン どなた」(똑똑똑누구십니까)、
「ちびっこよ ちびっこよ」(꼬마야 꼬마야)=ゴ
ム飛び遊びの歌である。

「ちびっこ」の「コマ」(コマ)は、日本語の「熊」
(くま)が変化したものと説明していた。

「きつねよ きつねよ 何してる」(여우야
여우야 뭐하니)、「かくれんぼをする人」(숨바꼭질할
사람)=かくれんぼの遊びの歌である。

기 러 기

쎄 쎄 쎄 아 침 바 람 찬 바 에
우 고 가 생 저 계 실 주 장 이 오
조금 빠른듯이 천천히
구리 구리 구리 구리 가위 바위 보

「雁」

セッセッセッ

朝の風冷たい風に 鳴いていくあの雁

われらの先生が いらっしゃる時に

葉書を一枚書いてください

一枚でなく二枚です

二枚でなく三枚よ

クリ クリ クリ クリ

カイバイボー

「青山土手から」（日本の原曲）東京の小学生が歌った歌詞

セッセッセッセッのよいよいよい

お寺のお和尚さんが

カボチャの種をまきました

芽が出てふくらんで

花が咲いて枯れちゃった

忍者になってぐるっと回ってジャンケンポン

岩手県のわらべ唄

青山土手から 奥州市

【歌詞】

せつせつせーの よいよいよい

青山土手から 東山見ればね はい見ればね

見れば見るほど 涙がポロポロ はいポロポロ

ポロポロ涙を 衿(たもと)で拭きましょ はい拭きましょ

拭いた襟を 洗いましょ はい洗いましょ

洗った襟を 絞りましょ はい絞りましょ

絞った襟を 干しましょ はい干しましょ

干した襟を たたみましょ はいたたみましょ

たたんだ襟を しまいましょ はいしまいましょ

しまった襟を ネズミがガリガリ はいガリガリ

ますますいかん かしました

(終わり)